

アンケート集計

■田辺聖子文学館 来館回数

- ☐ 初めて (9) ☐ 1～5回 (7)
☐ 6～10回 (0) ☐ 11回以上 (0)

■イベントの満足度

- ☐ 満足 (11) ☐ やや満足 (4)
☐ どちらとも (0) ☐ やや不満 (0) ☐ 不満 (0)

■本日のイベントの感想

- ・大変刺激的なご講演をありがとうございました。
- ・非常に興味深く面白かったです。ありがとうございました。
- ・日英翻訳時のいくつかの限界と、大阪弁の特殊性について知りました。留学生として、これから読書をする際には、日本語の細部にある面白い、微妙な表現にもっと注意を払うようにします。
- ・今回のイベントはおもしろかったです。初めて関西弁について詳しく知る機会があり、留学生の私にとってとても新鮮で興味深い体験であった。大阪弁は関東弁とは語調や表現方式が大きく異なり、同じ日本語でありながら、まるで別の文化のように感じられた。
- ・田辺先生の事を知り得たのが楽しかったです。
- ・翻訳の難しさを感じました。英語にも地方らしさを示す語などはあるかと思いますが、訳すことによって私たち私（ネイティブではないので少々わからない所もあるのですが）なんとなく感じるものが伝わらないのはなんとなくもどかしい気もします。
- ・知らなかったことがたくさんあり、勉強になりました。誠にありがとうございました。
- ・大阪弁の文章を英語に翻訳するのは至難の技と思う。ご苦勞の一端を理解できてよかった。
- ・大阪弁の底に流れる“情”に着目して、続けていただければと思います。がんばってください。
- ・日常、無意識に使っている大阪弁のニュアンスの違いの翻訳の難しさを知りました。
- ・タイトルだけでも翻訳、むずかしいものなんだな...と....。距離感や

雰囲気も文字にするの大変ですね。

- ・親しみのある大阪弁。その翻訳って本当に大変だとわかりました。面白い内容でした。同時に田辺聖子さんが我が母校である樟蔭出身であることが誇りだと再確認いたしました。スミス先生、難しい日本語で講演ありがとうございました。お疲れ様です。
- ・Smith先生の包括と排除のお話が面白かったです。田辺作品は「超ローカル」確かになど感じました。
- ・大阪弁が英訳される事、面白い。楽しい講演会でした。
- ・翻訳というあまり普段知らないことの話が聞けて楽しかったです。受け手の世代などによっても受け方は違うと思う。大阪の人はみんな田辺聖子さんみたいやと思われたはずかしいです。
- ・翻訳の難しさから大阪弁の面白さをより感じ、すばらしい取り組みと、今後楽しみにしています。
- ・翻訳の難しさが実例でよく分った。（関西弁の精神をどう表現するか。日常的でラフな表現にすることで田辺作品の精神に近づける）ジェニファー・スミス先生の日本語すばらしいですね。ずっと来たかった田辺聖子文学館を訪れることができてよかったです。今回の講演会がきっかけでした。ありがとうございました。田辺さんの料理本を大切に持っています。

■その他（今後取り上げて欲しいテーマ等自由にお書きください）

- ・「大阪ことば」という点で、河内弁、摂津弁、泉州弁や船場ことば等の違いなども取り上げてもらおうと嬉しいです。
- ・短篇小説の朗読。長編の要訳など。
- ・“カモカのおっちゃん”について
- ・文学本のビブリオバトル（推し本の提案）